

学会だより

◇ 会員の栄誉

津村義彦会員と山田昌彦会員が2020年度日本農学賞・読売農学賞を受賞

本会会員の津村義彦氏は「森林の遺伝的保全管理に関する研究」の業績により、山田昌彦会員は「果樹の交雑育種に適合した統計遺伝学の開発と応用」の業績により、日本農学会から2020年度の「日本農学賞」を授与されました。日本農学賞は、農学上顕著な業績を挙げたものに対して日本農学会から贈られるものです。なお、授与式ならびに受賞講演は2020年4月5日（日）に東京大学山上会館において開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の流行が拡大している状況を受け、中止となりました。

◇ 令和元年度 第1回運営委員会議事録

日時：2020年2月22日（土）14:00～17:30

場所：東京大学農学部7号館B棟2階会議室

各運営委員からの活動経過報告の後、以下の事項について審議された。

出席者：奥本裕、大澤良、村井耕二（web参加）、寺石政義、佐々英徳、井澤毅、有村慎一、石川隆二、山田哲也（北大）、畠山勝徳、吉岡洋輔、中園幹生、横井修司、加藤鎌司、久保貴彦、山本敏央、久保山勉、吉田均、加賀秋人、佐藤和広、築山拓司、風間智彦

欠席：なし

各運営委員からの活動経過報告の後、以下の事項について審議された。

- ① 第137回講演会（東京大学大会）の開催について
- ② 代議員会の開催について
- ③ 石原（志方）守一奨学金について
- ④ EUCARPIA Membership について
- ⑤ WEB ページの更新
- ⑥ 英文編集委員の新任
- ⑦ Note に関する投稿規定の改訂（英文誌）
- ⑧ 日本語引用文献に関する記載（英文誌）
- ⑨ 企画総説の決め方（英文誌）
- ⑩ 代議員会（東京大学大会）の議事案について
- ⑪ 予算案について
- ⑫ その他（大会校への寄付割合の見直しについて）

◇ 第9回代議員会議事録

日時：2020年3月27日（土）午後3時～

場所：東京大学大学院農学生命科学研究科7号館B棟236/237号室（東京大学弥生キャンパス）

（理事・監事・運営委員）

出席者：*奥本裕、*大澤良、村井耕二、*寺石政義、*佐々英徳、井澤毅、*有村慎一、石川隆二、山田哲也（北大）、畠山勝徳、*吉岡洋輔、中園幹生、横井修司、加藤鎌司、久保貴彦、山本敏央、久保山勉、吉田均、加賀秋人、佐藤和広、築山拓司、風間智彦、経塚淳子、吉村淳、宍戸理恵子

（平成30・31年代議員）

出席：加藤清明、久保友彦、高牟禮逸朗、高橋秀和、笹沼恒男、畠山勝徳、岡崎桂一、石本政男、米丸淳一、久保山勉、田中剛、中村郁郎、新倉聡、房相佑、井澤毅、伊藤純一、岩田洋佳、土井一行、三浦孝太郎、中園幹生、石井尊生、*寺石政義、横井修司、加藤鎌司、佐藤和広、久保貴彦、田浦悟【27名】

委任状（議決権行使）：阿部純、赤田辰治、矢野昌裕、矢野健太郎、宅見薫雄、山根京子、辻本壽、宮原克典【8名】

欠席：江面浩、田中淳一、平野博之、岩崎行玄、佐藤豊（遺伝研）【5名】

（令和2・3年代議員）

出席：貴島祐治、金澤章、加藤清明、高牟禮逸朗、北柴大泰、笹沼恒男、畠山勝徳、高橋秀和、石本政男、宇賀優作、江花薫子、吉田均、米丸淳一、大澤良、新倉聡、房相佑、高野哲夫、三浦孝太郎、山根京子、掛田克行、中園幹生、富田因則、半田裕一、横井修司、築山拓司、清水顕史、加藤鎌司、佐藤和広、草場信、久保貴彦、藤田大輔、緒方大輔【32名】

委任状（議決権行使）：赤木宏守、井藤純、堤伸浩、矢野健太郎【4名】

欠席：江面浩、佐藤正紀、木下哲、松田靖【4名】

（*：本会場（東京大学）にて出席、無印：web会議システムで出席）

議長：代表理事（奥本裕）

議事録：運営委員（庶務・総務第二）

出席者数は代議員会開催の定足数（過半数）に達していた。

1. 報告事項

- （ア）令和2・3年度代議員選挙結果報告
- （イ）令和2・3年度会長・副会長意向投票結果報告
- （ウ）令和2・3年度運営委員の選出経過報告
- （エ）運営委員会報告

総務：会員数の推移・学会誌発行部数・HP更新・メール配信数・契約・石原（志方）守一奨学金授与者、ホームページ：Webページの更新、科研費：BS・シンボ科

研費，農学会：農学会シンポジウム等，地域：各地域の活動報告，会計：会計報告，編集（英文誌）：編集状況，編集（和文誌）：編集状況，集会：今大会開催予定・次大会開催予定

(オ) 令和元年度事業報告について

(カ) 令和元年度事業・会計監査結果の報告

2. 審議事項

(ア) 特別決議議案 第1号議案：役員（理事2名及び監事2名）の解任について

投票結果に基づき，理事2名および監事2名が解任された。

(イ) 特別決議議案 第2号議案：次期役員（理事2名及び監事2名）の選任について

投票結果に基づき，以下の理事2名および監事2名が選任された。

代表理事（会長） 大澤良（筑波大学）

理事（副会長） 加藤鎌司（岡山大学）

監事 堤伸浩（東京大学）

監事 山本敏央（岡山大学）

なお，大澤良新代表理事及び加藤新理事は代議員を退き，代議員選挙の次点候補者が繰り上げとなって選任されることが確認された。

(ウ) 令和2年度予算案について

審議の結果，原案通り承認された。

(エ) 令和2年度学会賞等選考委員（6名）について

審議の結果，以下の6名が選出された。

佐藤和広，石本政男，辻本壽，矢野昌裕，井澤毅，中園幹生

(オ) 令和2年度シンポジウム委員（5名）について

審議の結果，以下の5名が選出された。

草場信，久保友彦，土井一行，岩田洋佳，横井修司

(カ) 次期BS・育種学研究の編集委員長について

審議の結果，辻本壽氏が選出された。

(キ) BSの編集委員，Noteに関する投稿規定の改定，日本語引用文献に関する記載及び企画総説の編集方法について

BS編集委員の新任・退任が承認された。Noteに関する投稿規定の改定と企画総説の編集方法については提案どおり，日本語引用文献に関する記載については文言修正の上承認された。

(ク) その他

3. その他

(ア) 関連報告

JABEE 公益財団法人農学会技術者教育推進委員会より報告があった。

(イ) その他

◇ 地域談話会だより

〈北海道地区〉

令和元年度日本育種学会北海道談話会年次講演会，総会および公開シンポジウム（日本作物学会北海道支部会と共催）が2019年12月7日（土）に北海道大学農学部で開催された。一般講演42課題および総会が行われ，それに続いてシンポジウムを開催し，6名の演者から講演いただいた。さらに，審査の結果，一般講演から優秀発表賞および奨励賞として4件ずつ，以下の課題が選出されました。

優秀発表賞

パン用小麦品種「キタノカオリ」の穂発芽被害軽減に向けた撥水剤処理効果の検証。川口謙二¹・寺沢洋平¹・伊藤美環子²・八田浩一¹（1. 北農研，2. 西農研）

北海道イネ系統の生長相分画による感光性・感温性の評価。河野健太¹・坂口俊太郎²・太田雄也²・内山 堯²・小出陽平²・高牟禮逸朗²・貴島祐治²（1. 北大農，2. 北大院農）

イネ品種「ゆきひかり」と「きらら397」間の交雑組合せで生じる低温感受性雑種崩壊の遺伝子マッピング。米谷侑樹・加藤清明（帯畜大）

ハウレンソウ性決定候補遺伝子の発現解析。須藤有紀¹・長部高之²・平川英樹³・鈴木稜⁴・小野寺康之¹（1. 北大院農，2. 北大農，3. かずさDNA，4. 東大院創域）

奨励賞

ダイズ種子の登熟に伴う貯蔵成分と細胞小器官の変化。依田七海¹・長田亜梨沙¹・鈴木卓¹・平田聡之²・伊藤利章¹・阿部純¹・山田哲也¹（1. 北大院農，2. 北大北方圏）

摘芯処理がエゴマの生育や収量におよぼす効果。鷹木希世¹・小西湧希¹・秋本正博（帯畜大）

野生イネ及び栽培イネにおける分けつ開張の動態。徳山芳樹¹・大西一光²・小出陽平¹（1. 北大，2. 畜大）

早晩性の異なるトウモロコシ品種における子実の登熟ならびに枯れ上がり過程とその関連形質の品種間変異。山口寛登¹・石山志穂¹・大木詩生¹・岡本達郎¹・服部遙子¹・市川伸次²・柏木純一¹・山田敏彦²・中島大賢¹（1. 北大農院，2. 北大FSC）

発表は以下の通りである。

(1) 一般講演 2019年12月7日（土）9:00～12:00

於：北海道大学農学部

1. 次世代シーケンス技術とイネ品種育成。藤野賢治・川原善浩（農業・食品産業技術総合研究機構）

2. 北大農場におけるバレイショ根系の年次変異に及ぼす土壌水分条件と気象条件の影響。岩間和人（北海道大学）

3. アイヌ民族におけるギョウジャニンニクの伝統的利用法。田丸典彦¹・木村浩子²・諫山邦子³（1. 釧路野外

研, 2. 釧路東雲小, 3. 北教大釧路)

4. アズキ茎疫病の圃場抵抗性検定について. 田中一生¹・沢口敦史²・長浜恵¹ (1. 道総研上川農試, 2. 道総研十勝農試)

5. 「早不知 D」由来の Starch branching enzyme 1 (*sbe1*) を導入した準同質遺伝子系統の農業特性および餅硬化特性. 道満剛平^{1,2}・粕谷雅志¹・木下雅文¹・林和希^{2,3}・小倉玲奈^{2,3}・平山裕治^{1,2}・堀川謙太郎²・山下陽子²・相馬ちひろ²・鈴木孝子² (1. 道総研上川農試, 2. 道総研中央農試, 3. 道総研北見農試)

6. 戻し交配による赤さび病抵抗性遺伝子 Lr34 の導入が秋まき小麦の農業特性に及ぼす影響. 神野裕信¹・前野眞司²・木内均¹・大西志全¹・其田達也¹・森田耕一¹・相馬ちひろ²・林和希^{1,2}・鈴木千賀^{2,3}・鈴木孝子² (1. 道総研北見農試, 2. 道総研中央農試, 3. 道総研十勝農試)

7. 北見農試における 2019 年産「きたほなみ」の多収要因. 大西志全・其田達也・神野裕信 (北見農試)

8. パン用小麦品種「キタノカオリ」の穂発芽被害軽減に向けた撥水剤処理効果の検証. 川口謙二¹・寺沢洋平¹・伊藤美環子²・八田浩一¹ (1. 北農研, 2. 西農研)

9. BvBTC1 遺伝子型を指標としたテンサイの抽苔耐性の改善. 黒田洋輔・松平洋明・岡崎和之 (農研機構・北農研)

10. 十勝地域におけるバレイショの晩植栽培が地上部生育および収量に及ぼす影響. 津田昌吾・辻博之・長崎裕一・田宮誠司 (北農研)

11. 北海道で育成された春播性コムギ新品種の比較—子実収量および収量関連形質—. 義平大樹 (酪農大)

12. アズキコアコレクションの過湿ストレスに対する反応の解析. 森正彦・吉松美穂・山口耀 (帯畜大)

13. ビート黄葉ウイルス (BLYV) 感染テンサイにおける葉の黄化程度と収量形質の関係. 岡崎和之・黒田洋輔・高篠賢二・松平洋明・成廣翼 (農研機構・北農研)

14. 栽培条件によって異なる収量反応を示すテンサイ系統. 松平洋明・岡崎和之・成廣翼・黒田洋輔 (農研機構・北農研)

15. 水稲直播栽培における播種法別倒伏特性. 向井一真・牧田淳志・田中英彦・岡田佳菜子 (拓殖短大)

16. 水稲直播栽培における携帯型 NDVI センサ利用の検討. 倉内瑠也・岡田佳菜子 (拓殖短大)

17. 北海道パン用春播き小麦における日長反応性遺伝子 Ppd-D1 座の効果. 竹之内悠¹・厩田淳史¹・田中由紀¹・太田宇香¹・松中仁² (1. ホクレン, 2. 九沖農研)

18. ホウレンソウ性決定候補遺伝子の発現解析. 須藤有紀¹・長部高之²・平川英樹³・鈴木穂⁴・小野寺康之¹ (1. 北大院農, 2. 北大農, 3. かずさ DNA, 4. 東大院創域)

19. アズキ品種「しゅまり」の日長不感受性に関する FD1 領域内の推定遺伝子の発現解析. 井元佑亮¹・堀内

優貴²・松田修一¹・吉川晶子¹・森正彦¹・得字圭彦¹・加藤清明¹ (1. 帯畜大, 2. 十勝農試)

20. 上育 462 号を遺伝的背景としたゆきひかりの染色体部分置換系統を用いた精白米のイオン化合物の特徴付け. 細川優介¹・及川彰²・平山裕治³・佐藤毅⁴・宗形信也⁵・加藤清明¹ (1. 帯畜大, 2. 山形大・農学部, 3. 道総研・中央農試, 4. 道総研・道南農試, 5. 道総研・上川農試)

21. イネ品種「ゆきひかり」と「きらら 397」間の交雑組合せで生じる低温感受性雑種崩壊の遺伝子マッピング. 米谷侑樹・加藤清明 (帯畜大)

22. 摘芯処理がエゴマの生育や収量におよぼす効果. 鷹木希世¹・小西湧希¹・秋本正博 (帯畜大)

23. 原産地の異なるヒマワリ品種の種子から抽出した凝乳プロテアーゼ活性の比較. 中平開斗¹・奈良優里佳¹・秋本正博 (帯畜大)

24. 十勝地方におけるラッカセイの無マルチ栽培の試み. 森山翔¹・田中一郎²・秋本正博¹ (1. 帯畜大, 2. 十勝グランナッツ LLC)

25. 品質工学の T 法を用いた北海道水稲品種の収量性に関する解析. 佐藤博一¹・神生直敏²・西村努¹・木下雅文³・宗形信也³ (1. 道総研中央農試, 2. 道総研工試, 3. 道総研上川農試)

26. ダッタンソバ「満天きらり」の連作による収量・品質への影響. 大塚しおり¹・横田聡¹・森下敏和²・原尚資¹・石黒浩二¹ (1. 農研機構・北農研, 2. 農研機構・次世代研)

27. 薬培養によるイネ四倍体作出と飼料イネへの応用. 星咲良¹・島崎優樹¹・貴島祐治¹・小出陽平¹・星野洋一郎² (1. 北大農, 2. 北大 FSC)

28. 野生イネ及び栽培イネにおける分げつ開張の動態. 徳山芳樹¹・大西一光²・小出陽平¹ (1. 北大, 2. 畜大)

29. キンギョソウトランスポゾン Tam3 に対して転移抑制効果を示す *Old Stabiliser* 遺伝子の解析. 浅野雛子・湯浅育幹・小出陽平・貴島祐治 (北大農)

30. 四倍体イネの薬培養を用いた二倍体への還元とその利用法の提案. 島崎優樹¹・國吉大地¹・増田到¹・金岡義高¹・星野洋一郎²・小出陽平¹・貴島祐治¹ (1. 北大農, 2. 北大 FSC)

31. 北海道イネ系統の生長相分画による感光性・感温性の評価. 河野健太¹・坂口俊太郎²・太田雄也²・内山堯²・小出陽平²・高牟禮逸朗²・貴島祐治² (1. 北大農, 2. 北大院農)

32. *Spinacia* 属における性決定候補遺伝子の探索および構造解析. 岡崎洋助¹・平川英樹²・小野寺康之¹ (1. 北大, 2. かずさ研)

33. 早晩性の異なるトウモロコシ品種における子実の登熟ならびに枯れ上がり過程とその関連形質の品種間変異. 山口寛登¹・石山志穂¹・大木詩生¹・岡本達郎¹・服部遙子¹・市川伸次²・柏木純一¹・山田敏彦²・中島大

賢¹ (1. 北大農院, 2. 北大FSC)

34. ダイズのリポキシングナーゼ遺伝子変異体における発芽時のストレス耐性に関する研究. 威穎・古川雄登・林優季乃・長田亜梨沙・鈴木卓・阿部純・山田哲也 (北大農院)

35. ダイズ種子の登熟に伴う貯蔵成分と細胞小器官の変化. 依田七海¹・長田亜梨沙¹・鈴木卓¹・平田聡之²・伊藤利章¹・阿部純¹・山田哲也¹ (1. 北大農院, 2. 北大北方圏)

36. エゾコザクラの遺伝的多様性評価へのサクラソウマイクロサテライトプライマーの適用. 原悠里¹・田中七海²・我妻尚広^{1,2}・岡本吉弘^{1,2}・森志郎^{1,2} (1. 酪農大院, 2. 酪農大)

37. カナダダイズ品種の収量と栽植密度に関する分枝可塑性—成長解析からみた多収要因と収量と分枝可塑性の関係—. 古瀬綾乃・辻友穂・義平大樹 (酪農大)

38. ダイズに対する植物活性剤「花吹雪」, 「ファイトオーツ」の施用が収量に及ぼす影響. 安達賢祐¹・義平大樹¹・上ヶ島勝彦²・河合博² (1. 酪農大, 2. ファイトクローム(株))

39. 二次回帰曲線を利用した子実用トウモロコシの栽植密度反応の評価—早晚性, 草型が異なる品種における差異—. 藤波恒太・宋糧・義平大樹 (酪農大)

40. アズキ草型関連遺伝子座の検出. 吉田透¹・武岡遼¹・入来院美奈¹・長澤秀高²・加藤清明¹・森正彦¹ (1. 帯畜大, 2. 十勝農試)

41. アズキの上胚軸伸長に關与するQTLのマッピング. 牧健斗¹・川畑翼¹・吉田透¹・加藤裕太¹・入来院美奈¹・長澤秀高²・加藤清明¹・森正彦¹ (1. 帯畜大, 2. 十勝農試)

42. イネ小穂の形態形成に關わる変異体の遺伝解析 (護穎と副護穎に着目して). 永井麻美子¹・Joseph Enoch Garcon²・池田慧³・小出陽平³・高牟禮逸朗^{2,3} (1. 北大農, 2. 北大院国際食資源, 3. 北大農院)

(2) 総会 2019年12月7日(土) 14:00～14:30 於: 北海道大学農学部

(3) 公開シンポジウム 2019年12月7日(土) 14:40～17:25 於: 北海道大学農学部

テーマ: 「生産現場に根ざす作物栽培および育種研究推進のための連携を考える」

—大学, 試験場, 普及センターの連携 (オール北海道) により現場の課題解決を!—

秋播性多収コムギ品種「きたほなみ」の分けつと草型特性を活かした播種および窒素施肥方法の普及

荒木英晴 (道農政部生産振興局技術普及課)

水稻の乳苗 (密苗) 移植栽培について

山本正浩 (山本正浩上川農業改良普及センター本所)

除草剤耐性テンサイとテンサイの栽培技術について

斎藤英俊 (日本甜菜製糖株式会社農技開発部)

納豆用小粒大豆「スズマルR」育成での普及センターと

の連携について

藤田正平 (道総研十勝農業試験場大豆グループ)

大学の研究者から見た研究普及機関とのつながりについて

笠島真也 (東京農業大学)

若手普及員が考える他機関との連携への希望

石川弘大 (北海道農業大学校)

〈東北地区〉

2019年11月30日(土曜日)に第14回東北育種研究会が岩手大学農学部(大会委員長: 島山勝徳)にて開催されました。特別講演, ポスター発表, 情報交換会を行いました。特別講演では岩手県農業研究センター県北農業研究所の高草木雅人氏と岩手大学農学部の由比進氏のお二人をお招きしてご講演いただきました。特別講演およびポスター発表へは当日参加者を含めて92名, 情報交換会には68名の参加がありました。

ポスター発表の演題数はこれまでの最多の41題(エントリー数は34題)あり, 短い時間ながら非常に活発な質疑応答がありました。審査の結果, 優秀ポスター賞として以下の3件を選定しました。

P15 ☆大向詩穂¹・島山欽哉¹・有村慎一²・風間智彦^{1,3} (1. 東北大・院・農, 2. 東大・院・農生命, 3. 現: 九大・院・農)

ミトコンドリア移行TALENによるRT102型CMSイネミトコンドリアゲノムの構造変化と表現型の調査

P19 ☆進藤友恵¹・吹野伸子²・山本雅也¹・西尾剛¹・北柴大泰¹ (1. 東北大学大学院農学研究科, 2. 農研機構野菜花き研究部門)

ダイコン辛味成分前駆物質グルコエルシン含量QTL近傍に座乗するMAMI遺伝子の発現解析

P32 ☆大矢志緒里¹・宮川紗也¹・菅原里花子¹・杉山輝樹¹・斎藤靖史 (岩手大・農)

イネ種子サイズ形成に關わるCDKインヒビターの機能解析

開催の詳細は以下の通りです。

1. 日時: 令和元年11月30日(土) 13:00～17:00

2. 会場: 岩手大学農学部総合教育研究棟(生命系) 1F 7番講義室・遠隔講義室

3. プログラム

13:00 受付開始 (7番講義室)

13:25 開会

13:30 特別講演 1

岩手県農業研究センター県北農業研究所 高草木雅人 氏

「岩手県における雑穀育種の取り組み」

14:30 ポスター発表 (遠隔講義室)

14:30～15:15 奇数番号

- 15:15 ~ 16:00 偶数番号
 16:10 特別講演 2
 岩手大学農学部 由比進氏
 「36年経ってもできない品種, 22年経っても普及しない品種」
 17:10 閉会
 17:30 情報交換会 (農学部食堂)
 優秀ポスター賞表彰式

4. ポスター発表演題リスト (☆: 優秀ポスター賞エントリー発表者, ○: 発表者)

- P01 ○星野次汪¹・阿部岳¹・武田伸也¹・田口芳彦¹・渡邊学¹・塚本知玄²・佐川了¹・高畑義人²・佐藤孝³・高階史章³・金田吉弘³・王克昌^{2,4}
 大豆品種「貴まる」のイソフラボン含有量とCd吸収能の選抜および納豆・豆腐の食味評価
 P02 ○門馬孝之 (Momma Hop Laboratory)
 ホップの形質転換系と育種
 P03 ○石川隆二 (弘前大学農学生命科学部)
 カジノキの遺伝的多様性は古文書の由来を説き明かせるか
 P04 ☆Tadesse Lakew^{1,2}・Ryuji ISHIKAWA^{1,3}・Katsunori TANAKA^{1,3} (1. UGAS, 2. EIAR, 3. 弘前大学農学生命科学部)
 Three groups detected in wild rice populations from Ethiopia as revealed by chloroplast and SSR markers
 P05 ☆Dinh Thi Lam^{1,2}・石川隆二³ (1. UGAS, Iwate University, 2. IAS, Vietnam, 3. 弘前大学農学生命科学部)
 Effectiveness of Sodium Azide (NaN₃) for *indica* rice mutagenesis
 P06 ☆笹森峻雅・石川隆二 (弘前大学農学生命科学部)
 ‘まっしぐら’ × ‘恋ほのか’ RILs 後代系統 ‘4T’ および ‘16T’ の遺伝ゲノム領域の推定
 P07 ☆三島木隆広¹・石川隆二¹・一谷勝之² (1. 弘前大・院農学生命科学, 2. 鹿児島大農)
 オーストラリア野生イネ由来大粒遺伝子の効果の検証
 P08 ○田中克典¹・明石由香利²・小川真輝¹・加藤鎌司² (1. 弘前大・農生, 2. 岡山大院環境生命)
 温室メロン “B2” と ‘パール’ との交雑後代における可溶性固形分濃度の遺伝
 P09 ☆日景雄大・石川隆二・田中克典 (弘前大・農生命)
 半矮性イネにおける草丈の遺伝解析と遺伝子座領域の推定
 P10 ☆江口直希¹・田中克典¹・加藤鎌司² (1. 弘前大・農生命, 2. 岡山大院環境生命)
 アブラムシ抵抗性 *Vat* 遺伝子を判別する DNA マーカーの開発と *Vat* 遺伝子の起源
 P11 ☆土田大介¹・高橋秀和²・上田健治³・櫻井健二³・

- 渡辺明夫³・川本朋彦⁴・赤木宏守³ (1. 秋田県大院・生物資源, 2. 福島大・農学類, 3. 秋田県大・生物資源, 4. 秋田県農試)
 イネの低温発芽性に関する *AAA-ATPase* 遺伝子の解析
 P12 ☆中川陸司¹・高橋秀和²・上田健治³・渡辺明夫³・赤木宏守³・櫻井健二³ (1. 秋田県大院・生物資源, 2. 福島大・農学類, 3. 秋田県大・生物資源)
 秋田県在来ナス品種を識別する SSR マーカーを用いた遺伝的集団解析
 P13 佐久間結奈^{1,2}・鈴木悠世^{1,3}・菊池達也⁴・○伊藤幸博^{1,4} (1. 東北大・科学者の卵養成講座, 2. 花巻北高, 3. 米沢興譲館高, 4. 東北大・農)
 イネの表皮分化に必要な *onion* 遺伝子のメンデルの法則に従わない遺伝様式
 P14 ☆関根聡・鳥山欽哉 (東北大・院・農)
in planta パーティクルボンバードメント法によるイネゲノム編集の試み
 P15 ☆大向詩穂¹・鳥山欽哉¹・有村慎一²・風間智彦^{1,3} (1. 東北大・院・農, 2. 東大・院・農生命, 3. 現: 九大・院・農)
 ミトコンドリア移行 TALEN による RT102 型 CMS イネミトコンドリアゲノムの構造変化と表現型の調査
 P16 ☆高塚歩¹・風間智彦^{1,2}・鳥山欽哉¹ (1. 東北大・農, 2. 現九州大・院・農)
 Tadukan 型細胞質雄性不稔性イネの稔性回復様式とミトコンドリア遺伝子の解析
 P17 ☆渡邊明子¹・畑中佳乃^{2,3}・伊藤幸博^{1,2} (1. 東北大・農, 2. 東北大・科学者の卵養成講座, 3. 高崎女子高校)
 イネもやしを用いた暗所でのタンパク質生産
 P18 ☆朱星宇・北柴大泰 (東北大学大学院農学研究科)
 セイヨウナタネにおける耐塩性と発芽時の ABA 感受性との関連性
 P19 ☆進藤友恵¹・吹野伸子²・山本雅也¹・西尾剛¹・北柴大泰¹ (1. 東北大学大学院農学研究科, 2. 農研機構野菜花き研究部門)
 ダイコン辛味成分前駆物質グルコエルシン含量 QTL 近傍に座乗する *MAMI* 遺伝子の発現解析
 P20 ☆赤沼岳・山本雅也・北柴大泰 (東北大学大学院農学研究科)
 次世代シーケンサーによる *S* ハプロタイプ同定の試み
 P21 ☆小倉真里奈・山本雅也・北柴大泰 (東北大学大学院農学研究科)
Brassica rapa で見出された新規 *S* ハプロタイプ
 P22 ☆薛会叢・石井朝子・田坂初音・赤沼岳・朱星宇・小林寛人・北柴大泰 (東北大学農学研究科)
 ダイコンの一莢種子数と一雌蕊胚珠数の関連性
 P23 ○鳥羽太陽¹・志賀敏秀^{1,2}・徳永浩樹^{1,3}・経塚淳子¹ (1. 東北大院生命科学, 2. 農研機構種苗管理部, 3. 理研 CSRS)

イネの葉身/葉鞘割合の遺伝的制御による育種の可能性
 P24 ☆小出哲嗣¹・西田英隆²・Ivan Gabrielyan³・Gayane Melyan⁴・Alvina Avagyan⁴・Aghyan Sahakyan⁴・Olga N. Kovaleva⁵・笹沼恒男¹ (1. 山形大・農, 2. 岡山大院・環境生命, 3. アルメニア国立科学アカデミー・植物研, 4. アグラリアン大・農業バイテク科学センター, 5. パビロフ研)
 葉緑体 SSR 領域の多型解析と形質調査に基づくアルメニアで新規に採集されたタルホコムギの遺伝的多様性の解明
 P25 ☆大森史歩¹・鶴巻啓一^{1,2}・笹沼恒男^{1,2} (1. 山形大・農, 2. 岩手大・院連合農学)
 トウガラシ非赤色果実色の原因となる *Ccs* 遺伝子上流大規模欠失の同定と DNA マーカーの開発
 P26 ☆佐藤結紀¹・伊藤壘²・岸本誠司²・笹沼恒男¹ (1. 山形大・農, 2. 鳥海山・飛鳥ジオパーク推進協議会)
 分子マーカーを用いたトビシマカンゾウと東北各地のニッコウキスゲの多様性・系統関係の解明
 P27 ☆渡恒喜¹・澤田小春¹・田中裕之²・佐藤和広³・高田兼則⁴・朱明婧⁵・龍春林⁵・笹沼恒男¹ (1. 山形大・農, 2. 鳥取大・農, 3. 岡山大・植物研, 4. 農研機構・西日本農研, 5. 中央民族大)
 中国青海省で収集したパンコムギ遺伝資源の遺伝的特徴の解明

P28 ☆鈴木大規・天川貴聖・萩原誠・佐藤香織・江頭宏昌 (山形大学農学部)
 国内エダマメ品種のデータベース構築その 1. 中部以北を中心として
 P29 ○深井英吾・岡崎桂一 (新潟大・農)
 ゲノムショートリードからトランスポゾンの新規転移イベントを同定する手法の検討
 P30 ☆奥聡史・青木和彦・本城正憲・室崇人・塚崎光 (農研機構・東北農研)
 土壌タイプがタマネギりん茎のケルセチン蓄積に及ぼす影響
 P31 ☆石川和也¹・竹田匠¹・寺内良平^{1,2}・阿部陽¹ (1. 岩手生物工学研究センター, 2. 京都大学大学院農学研究科)
 イネの倒伏耐性機構の解明およびそれに関与する因子の探索
 P32 ☆大矢志緒里・宮川紗也・菅原里花子・杉山輝樹・斎藤靖史 (岩手大・農)
 イネ種子サイズ形成に関わる CDK インヒビターの機能解析
 P33 ☆西方千佳・東海林愛美・斎藤靖史 (岩手大・農)
 ゲノム編集技術を利用したイネ種子形成における *OsSub53*, *OsSub63* の機能解析
 P34 ☆田村健・和泉宏彰・斎藤靖史 (岩手大・農)
 シロツメクサの複葉形成に関わる *LFY* 遺伝子の機能解



特別講演 1



特別講演 2



優秀ポスター賞受賞者



ポスター発表の様子

析の試み

- P35 ☆和泉宏彬・田村健・斎藤靖史（岩手大・農）
ゲノム編集によるシロツメクサ SLM1 遺伝子の複葉形成に関わる機能解析の試み
- P36 ☆小林紗霧・田村健・斎藤靖史（岩手大・農）
シロツメクサの複葉形成に関わる PALMI 遺伝子の機能解析の試み
- P37 ☆和崎俊文¹・塚崎光²・西川和裕³・北本尚子⁴・由比進¹（1. 岩手大農学部附属寒冷フィールドサイエンス教育研究センター, 2. 農研機構東北農研, 3. (株)サカタのタネ, 4. 秋田県立大学生物資源科学部）
「つけな中間母本農2号」型 *BrFLC* 遺伝子がハクサイの低温要求性に及ぼす影響
- P38 ☆秋田谷菜那¹・高橋美紗子^{1,3}・松元哲²・高畑義人¹・畠山勝徳¹（1. 岩手大・農, 2. 農研機構・野菜花き部門, 3. 現: 雪印種苗 (株)）
根こぶ病抵抗性遺伝子座 *Crr1b* の候補 ORF 集積系統における致死表現型
- P39 ☆佐々木祥子・高畑義人・畠山勝徳（岩手大・農）
エンドウの莢形質の遺伝育種学的解析
- P40 ☆高谷聡汰・高畑義人・畠山勝徳（岩手大・農）
ソバの半数体作出法と効率的な再分化系の開発
- P41 ☆藤原春香¹・小林光智²・阿部陽²・高畑義人¹・畠山勝徳¹（1. 岩手大・農 2. 岩手生工研）
アワのスパイクディップ形質転換法の確立

〈中部地区〉

第 27 回育種学会中部地区談話会が、2019 年 11 月 30 日（土）に沼津工業高等専門学校にて開催された。特別講演 2 題および 19 題のポスター発表が行われ、中部地域 5 県の大学・研究機関からの 53 名の参加者間で活発な質疑・意見が交わされた。また、一般講演については、参加者全員による投票で優秀ポスター賞を選定し、2 題に授与するなど、互いの成果をたたえ合いつつ盛況の内に幕を閉じた。

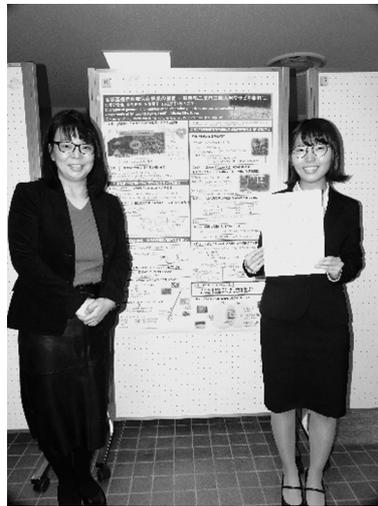
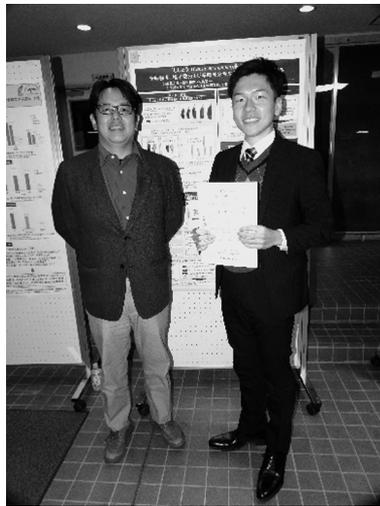
発表課題は以下の通りである。

- 特別講演 1：静岡県におけるチャ品種育成とその活用
中村順行 氏（静岡県立大学茶学総合研究センターセンター長）
- 特別講演 2：植物の生殖研究はどのように育種に活かせるか？
野々村賢一 氏（国立遺伝学研究所植物細胞遺伝学研究室）

ポスター発表

1. カンキツ雄性不稔性選抜マーカーの開発と現場実装へ試み
○後藤新悟・太田智・濱田宏子・藤井浩・喜多正幸・吉岡照高*・野中圭介・清水徳朗・島田武彦（農研機構・

- 果樹茶業部門, *現: 農研機構 西日本農業研究センター)
2. 普通ソバ (*Fagopyrum esculentum*) における高ルチン含量優良系統の育成 (5)
○坂井呂嘉¹・南峰夫²・谷口岳志³・根本和洋⁴・松島憲一⁴（1. 信州大学大学院総合理工学研究科, 2. 信州大学農学部, 3. 長野県野菜花き試験場, 4. 信州大学学術研究員農学系）
3. ‘ししとう’ (*Capsicum annuum*) 果実における辛味強度、種子数および辛味成分合成関連遺伝子発現の関係
○近藤文哉¹・根本和洋²・松島憲一²（1. 信州大学大学院総合理工学研究科, 2. 信州大学学術研究院農学系）
4. 頑健・短稈・大粒・極早生遺伝子を持つコシヒカリの同質遺伝子系統の育成とゲノム編集のためのプロトプラスト単離
○横山高明・勝見樹・斉藤涼介・菅原海里・富田因則（静岡大学グリーン科学技術研究所）
5. 短稈晩生・複合耐性遺伝子を持つコシヒカリの同質遺伝子系統
○徳山諒太郎・富田因則（静岡大学グリーン科学技術研究所）
6. 根端切除法を用いたイネ異形側根原基におけるトランスクリプトーム解析
○河合翼¹・高橋（野坂）美鈴²・高橋宏和¹・佐藤豊²・中園幹生¹・山内章¹・犬飼義明³（1. 名大・院生命農学, 2. 遺伝研, 3. 名大・農国センター）
7. イネ遠縁品種由来の組換え自殖系統群を用いた根における eQTL 解析
○神野恭輔¹・河合翼¹・土井一行¹・犬飼義明²（1. 名大・院生命農学, 2. 名大・農国センター）
8. 早期に採取された子房を用いる子房培養法の *Dendrobium*（ラン科）への応用
○佐脇宗一郎・伊藤拓摩・窪田湧斗・加藤淳太郎（愛知教育大学）
9. *Cymbidium eburneum* と *C. floribundum* の種間交配により出現した母親由来の発芽個体
○伊藤拓摩・伊藤智也・澤田昂己・加藤淳太郎（愛知教育大学）
10. ソルガムにおける温度感应型開花に関する分子遺伝学的解析
○橋本舜平¹・手塚孝弘²・春日重光³・横井修司²・佐塚隆志⁴（1. 名大院・生命農学, 2. 大阪府大・生命環境科学, 3. 信大・農学部 AFC, 4. 名大・生物機能開発利用研究センター）
11. スイートソルガムにおける主要糖成分の生理学的解析：高/低ヘキソース型系統における経時的濃度変化
○南山将輝¹・丹羽佑介¹・橋本舜平¹・中村（荒木）聡子²・篠原（大前）梢²・三浦孝太郎³・春日重光⁴・佐塚隆志²（1. 名大・院生命農, 2. 名大・生物機能開発利用研究センター, 3. 福井県立大・生物資源, 4. 信



ポスター賞を受賞されたお二人
左：近藤文哉さん（信州大学） 右：服部愛佳さん（岐阜大学）

大・農学部 AFC)

12. ソルガム育種における栽培及び家畜飼料適性の検討
○毛利世那¹・橋本舜平¹・中村（荒木）聡子²・吉村文孝³・篠原（大前）梢²・西内俊作³・佐塚隆志²（1. 名大・院生命農, 2. 名大・生物機能開発利用研究センター, 3. 名大・全学技術センター）

13. コムギ近縁野生種 *Aegilops longissima* と *Ae. sharonensis* における穂の形態的二型関連遺伝子 LAI-1 の同定
○富田淳¹・村川未果¹・前田麻友子¹・山根京子¹・太田敦士²（1. 岐大応生, 2. 京大院農）

14. 日本のワサビ属植物の多様性の解明に向けた系統地理学的解析および辛味成分のプロファイリング
○羽賀夏子¹・小林恵子¹・馬場富二夫²・高島茂雄³・山根京子¹（1. 岐阜大学, 2. 静岡農林技研伊豆農研セ, 3. 岐大科基セ）

15. 官学連携型系統維持保存事業の展開—東京都三鷹市三鷹大沢ワサビを事例に
○服部愛佳・國島聡史・羽賀夏子・山根京子（岐大応生）

16. 日本の栽培イネ品種群の栄養成長への施肥・無施肥の影響
○長谷川昂平¹・黒川裕介²・高橋宏和²・西内俊策²・村瀬潤²・平野恒³・松岡信³・中園幹生²（1. 名大農学部, 2. 名大院生命農, 3. 名大・生物機能開発利用研究センター）

17. 日蘭トマト品種を用いた二次木部組織に関する QTL 解析
○遠藤あずみ¹・林知宏²・大山暁男³・中園幹生²・高橋宏和²（1. 名大・農, 2. 名大院・生命農, 3. 農研機構・野花研）

18. ダイズの二次通気組織におけるトリテルペノイドの生理機能の解明
○安保知里¹・牛来智香²・柳川麻子²・加賀秋人³・關



集合写真

光⁴・鈴木隼人⁴・村中俊哉⁴・中園幹生²・高橋宏和²（1. 名古屋大学農学部, 2. 名古屋大学大学院生命農学研究科, 3. 農研機構次世代作物開発センター, 4. 大阪大学大学院工学研究科生命先端工学専攻）

19. 緑茶品種の *in vitro* 挿し木法の確立
○大久保日奈¹・○加藤穂香¹・稲葉蒼一郎²・古川一実¹（1. 沼津工業高等専門学校物質工学科, 2. 沼津工業高等専門学校専攻科）

〈九州・沖縄地区〉

第14回日本育種学会九州育種談話会が、2019年11月30日（土）に東海大学熊本キャンパスで開催された。本談話会では、4題の依頼講演とポスター発表23題があり、事前参加登録者60名と当日参加者38名の合計98名の参加者により活発な意見交換が行われた。また一般参加によるポスター発表では、参加者による投票で以下の2題のポスター発表が表彰された。

〈最優秀発表賞〉

P14:「キイチゴ育種における糖代謝に着目した新しい選抜方法の開発にむけて」

☆佐藤真衣¹・富永晃好²・野島聖生¹・安田喜一¹ (1. 東海大農学部, 2. 静岡大農学部)

〈優秀発表賞〉

P16:「*Oryza sativa* L. と *O. glaberrima* Steud. 間種間交雑に由来する F₁ 花粉不稔遺伝子座 *S18* の近同質遺伝子系統におけるタペート崩壊の異常」

☆藤原渉・井上惇之・久保貴彦・安井秀・吉村淳・山形悦透 (九大院・農)

発表演題は以下のとおり。

〈講演〉

O1:「沖縄県におけるかんしょ栽培の問題点と育種の改良の可能性」

岡田吉弘 (農研機構九州沖縄農業研究センター生産環境研究領域熱帯性病害虫管理グループ)

O2:「熊本県におけるカンキツの品種育成」

三原崇史 (熊本県農研センター果樹研究所常緑果樹研究室)

O3:「アブラナ科植物の研究基盤構築に向けて」

川邊隆大 (東海大学農学部応用植物科学科蔬菜花卉園芸学研究室)

O4:「教育・研究機関における減災:あの日の東海大学農学部から考える」

岡本智伸 (東海大学農学部長)

〈ポスター発表〉

P1:「フィトクロムの転写開始点制御によって生じる細胞質局在型アイソフォームの機能解析法の検討」○阿久根清羅・牛島智一・松下智直 (九大院・農)

P2:「超軟質米の作出に向けた Isoamylase1 活性低下変異の単離および解析」○中村哲洋・Tho Nguyen・久保貴彦・熊丸敏博 (九大院・農)

P3:「Identification of genomic region harboring *Endosperm Storage Protein (ESP) 3* gene regulating the Cysteine-rich prolamine by MutMap」○Tran Hong Quan・Hiroaki Matsusaka・Tomokazu Ushijima・Takahiko Kubo・Toshirhiro Kumamaru (九大院・農)

P4:「Linkage analysis of bacterial blight resistance gene from XM6, a mutant line」○Jessey A. Msami¹・阿部洋介¹・Shah Shameel¹・一谷勝之¹・田浦悟² (1. 鹿大農, 2. 鹿大遺伝子)

P5:「イネ品種コシヒカリのイネ白葉枯病に対する反応 VI. インド型感受性品種 IR24 にコシヒカリを交配して作成した組換え型自殖系統の病斑伸長に関する QTL 解析」○阿部洋介¹・Jessey A. Msami¹・Shah Shameel¹・一谷勝之¹・田浦悟² (1. 鹿大農, 2. 鹿大遺伝子)

P6:「イチゴ炭疽病抵抗性関連 QTL による選抜効果の実証」平田千春・○田中幹大・宇都俊介・末吉孝行・森美幸・永松志朗・和田卓也 (福岡農林試)

P7:「栽培イチゴの雄性不稔選抜用マーカーを用いた次世代型種子繁殖イチゴ開発」○和田卓也¹・末吉孝行¹・平田千春¹・高田衣子¹・野口裕司²・片岡園²・磯部祥子³・森美幸¹・永松志朗¹・田中幹大¹・下村克己¹ (1. 福岡農林試, 2. 農研機構野菜花き研究部門, 3. かずさ DNA 研究所)

P8:「Identification of novel MYB transcription factors involved in the isoflavone biosynthetic pathway by using the combination screening system with agroinfiltration and hairy root transformation」○Md. Abdur Rauf Sarkar¹・Satoshi Watanabe¹・Akihiro Suzuki¹・Fumio Hashimoto²・Toyoaki Anai¹ (1. 佐賀大学, 2. 鹿児島大学)

P9:「ダイズ種子におけるイソフラボン生合成に関与する量的形質遺伝子座の解析」○山田梨姿・渡邊啓史・穴井豊昭 (佐賀大学)

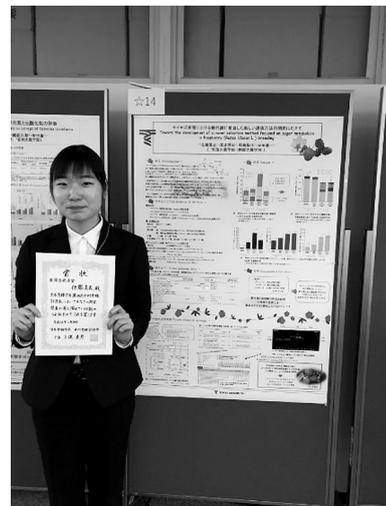
P10:「ダイズ代謝変異体の選抜に向けたメタボローム解析手法の検討」○津奈真由・渡邊啓史・穴井豊昭 (佐賀大学)

P11:「業務需要に対応した多収性カラーピーマン F₁ 品種の育成」○武田和宣 (ピーマン育種コンソーシアム) (宮崎県総合農業試験場 (ピーマン育種コンソーシアム代表機関))

P12:「鹿児島県長島町に自生する *Zoysia* 属種における遺伝的多様性」岸本まどか・○松田靖・村田達郎 (東海大学農学部)

P13:「四倍体ウンシュウミカンの無核性カンキツ育種素材としての評価」菊池紘平¹・○戸村大河¹・八幡昌紀²・國武久登³・安田喜一¹ (1. 東海大農学部, 2. 静岡大農学部, 3. 宮崎大農学部)

P14:「キイチゴ育種における糖代謝に着目した新しい



最優秀発表賞受賞者
佐藤真衣さん



集合写真（懇親会后）

選抜方法の開発にむけて」○佐藤真衣¹・富永晃好²・野島聖生¹・安田喜一¹（1. 東海大農学部, 2. 静岡大農学部）

P15：「TALEN を用いたイネミトコンドリアゲノムの改変」○風間智彦¹・鳥山欽哉²・有村慎一³（1. 九大院・農, 2. 東北大学・院・農, 3. 東京大学・院・農生命）

P16：「*Oryza sativa* L. と *O. glaberrima* Steud. 間種間交雑に由来する F₁ 花粉不稔遺伝子座 S18 の近同質遺伝子系統におけるタペート崩壊の異常」☆藤原渉・井上惇之・久保貴彦・安井秀・吉村淳・山形悦透（九大院・農）

P17：「F₁ 花粉不稔遺伝子座 S21 における *Oryza nivara* Sharma et Shastry アレルと *O. meridionalis* Ng. アレル間相互作用の検証」○窪田隆一・阪田光和・村上亮・宮崎雄太・安井秀・吉村淳・山形悦透（九大院・農）

P18：「Evaluation of salinity stress tolerance in the rice core collection」○B.T.T. Ngoc^{1,2}・H. Aratani¹・Y. Yamagata¹・H. Yasui¹（1. Fac. Agr., Kyushu Univ., Plant Breed., 2. Dept. Agr. Rural Devel, Soc Trang prov., Vietnam）

P19：「Evaluation of promising lines for rice bran oil in Vietnam」P.V. Cuong¹, T.T. Hanh¹・N.V. Hoan¹・H. Yasui²・A. Yoshimura²（1. Cent. Intl. Plant Res. Vietnam and Japan, 2. Fac. Agr., Kyushu Univ.）

P20：「イオンビーム照射による *Hwa1-1*, *Hwa2-1* が引き起こすイネ雑種弱勢克服の試みと突然変異キメラ研究の可能性」○一谷勝之¹・清水圭一¹・橋本文雄¹・内海俊樹²・玉置尚徳¹・山本雅史¹・吉田理一郎¹・岡本繁久¹・二神泰基¹・尾上昌平³・久保山勉⁴・田浦悟⁵（1. 鹿児島大・農学, 2. 鹿児島大・院理工学研究科, 3. 鹿児島大・研究推進機構研究支援センター, 4. 茨城大・農学, 5. 鹿児島大・遺伝子実験施設）

P21：「イネ白葉枯病抵抗性突然変異系統の抵抗性発現時期の分析」○瀧山祐樹¹・田浦悟²・一谷勝之¹（1. 鹿児島大・農学, 2. 鹿児島大・遺伝子実験施設）

P22：「アジア栽培イネ *Oryza sativa* とオーストラリア野生イネ *O. meridionalis* の交雑後代で観察された分離歪みに関する連鎖解析」○豊元大希¹・市川真²・田浦悟³・石川隆二⁴・一谷勝之^{1,2}（1. 鹿児島大・院連合農学, 2. 鹿児島大・農学, 3. 鹿児島大・遺伝子実験施設, 4. 弘前大・農学生命科学）

P23：「日本型水稲品種へのトビイロウンカ抵抗性の導入」○藤田大輔¹・Nguyen Dinh Cuong¹・條島真紀子²・真田幸代³・松村正哉³・安井秀⁴（1. 佐賀大学, 2. 佐賀県農業試験研究センター, 3. 農研機構九州沖縄農業研究センター, 4. 九大院・農）

日本育種学会会員異動（2019.10.21～2020.4.20）

◇普通会員入会：堀川謙太郎，松永航，松平洋明（北海道），池永幸子（岩手県），湯本節三，沼尻侑子，藤郷誠，永利友佳理，竹谷勝，清水浩晶，星川健，金達英（茨城県），田上舞，石原島由依（栃木県），松平理（埼玉県），保坂碧，金子裕矢（神奈川県），辻村真衣（京都府），宮崎真行（福岡県），深蔵知花（大分県）

◇学生会員入会：須藤有紀，藤田拓希，島崎優樹，徳山芳樹（北海道），和泉宏彬，佐々木祥子（岩手県），OKASA ANDI MULIARNI（宮城県），佐藤理絵，菊地美希（秋田県），佐野舜一，大森史歩（山形県），柏瀬郁菜（栃木県），伊藤綸太郎，中里一星，櫻井建吾，ディオ・ジュリアン，湯瀬真衣，藤川陸，李熙龍（東京都），寺田智彦，五十嵐寛太，中村珠里，三ツ村葵（神奈川県），櫻井雅浩（新潟県），高田茉莉奈，本郷将太郎（石川県），橋本佳澄，速水小夜（福井県），近藤文哉（長野県），服部愛佳（岐阜県），SOMASHEKAR HARSHA，大久保日奈（静岡県），高藤良典，加藤優介，小林七海，井上駿，KITONY JUSTINE（愛知県），NANAPE AGETHA BIGIE（三重県），藤本源，藤崎稔史，安部学（京都府），

立田智輝, 定久公美, 山本真璃 (大阪府), BALLA MOHAMMED YOUSIF (鳥取県), WAHINYA FIONA WACERA, OMOLLO ADHIAMBO, ZIHUAN JING, SAKKOUR AREEJ (岡山県), MUNGUAMBE NILSA EMILIA, NGUYEN THI LE HA (佐賀県), MSAMI JESSEY ANDERSON, 瀧山祐樹 (鹿児島県)

住所変更等

◇普通会員：高田兼則 (北海道), 高山敏之, 殿崎薫

(岩手県), 長嶺愛, 福田あかり, 前田英郎, 吉永優 (茨城県), 奥村健治, 田村健一 (栃木県), 有井彩, 八木雅史 (東京都), 河瀬眞琴 (神奈川県), 梶亮太 (新潟県), 前田寛明 (富山県), 平岡裕一郎 (静岡県), 谷本涼 (愛知県), 小野木章雄 (滋賀県), 牛島智一, 奥本裕 (大阪府), 富田朝美 (岡山県), 熊谷亨, 田中若奈 (広島県), 谷中美貴子 (福岡県), 境哲文 (熊本県)

◇学生会員：橋本舜平 (愛知県)